

令和4年度第2回大北医療圏 地域医療構想調整会議	資料 1
令和5年2月17日	

地域医療構想に関する将来意向調査の結果等について

地域医療構想に関する将来意向調査の概要

- 各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しに向けた議論等を進めるため、県内の一般・療養病床を持つ公立・公的・民間病院及び診療所を対象に、「地域医療構想に関する将来意向調査」を実施。
- 今回の調整会議では、様式1の集計結果の概要を中心に説明させていただきます。(様式2の集計結果の概要については、令和5年度第1回調整会議で説明させていただく予定です。)

■ 調査期間

令和4年12月2日(金) ~ 令和5年1月13日(金)

■ 調査項目

【様式1】

1. 自院の現状

- (1) 許可病床数(令和4年7月1日時点)
- (2) 医師・看護職員の職員数(令和4年7月1日時点)
- (3) 診療科目(令和4年7月1日時点)
- (4) 入院基本料の届出状況(令和4年7月1日時点)
- (5) 自院の特徴と課題

2. 今後の方針

- (1) 自院の今後の方針(今後の圏域における役割、具体的な今後の方針)
- (2) これまでの調整会議に提出した2025年における対応方針の変更意向の有無
- (3) これまでの調整会議に提出した2025年における対応方針を変更する(しない)理由
- (4) 2025年・2030年における許可病床数の予定
- (5) 2030年における対応方針について
- (6) 地域(圏域)の課題と将来あるべき姿について

【様式2】

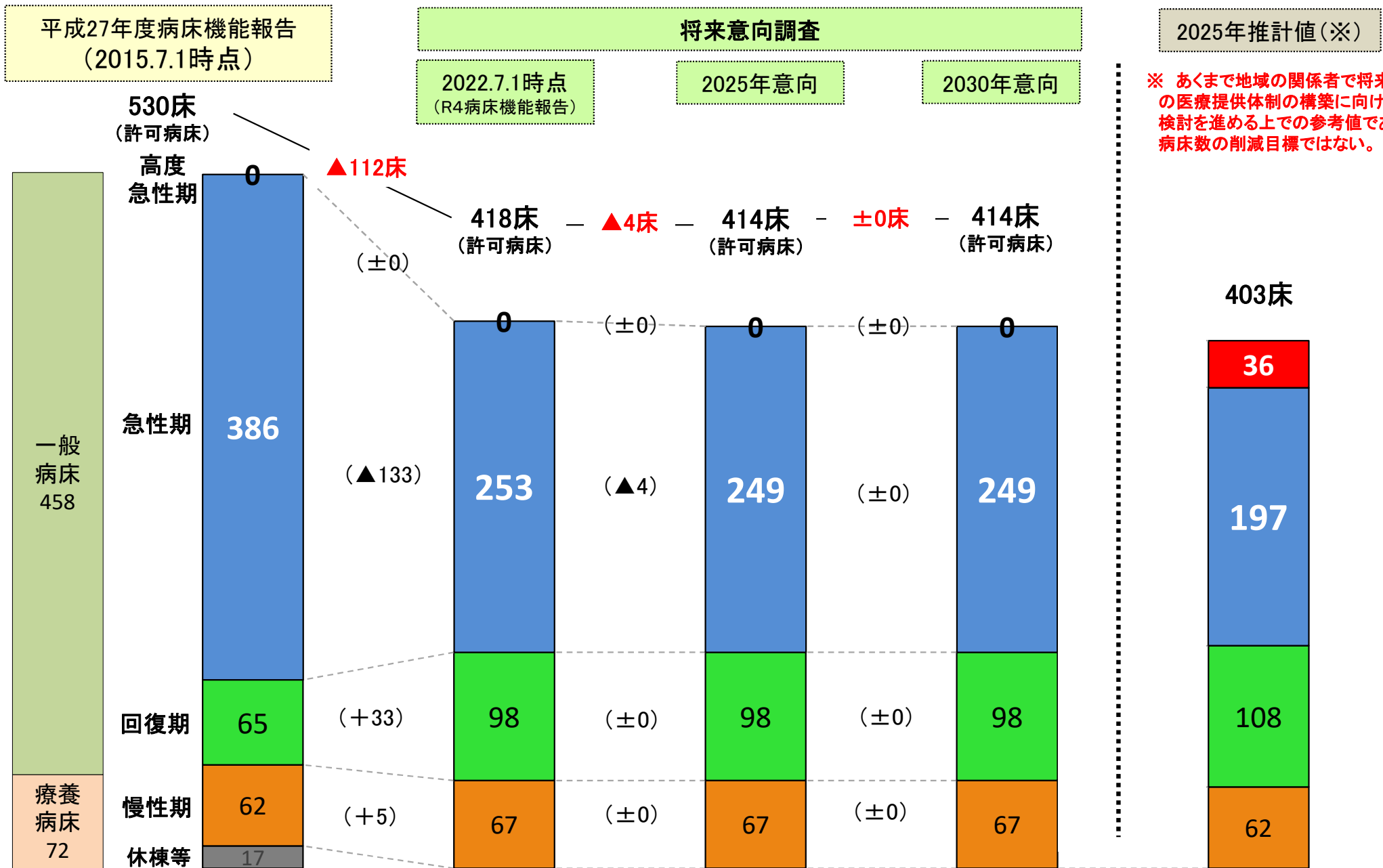
1. 現在担っている役割(※)(令和4年7月1日時点)

2. 2025年・2030年に担う予定の役割(※)の意向

※5疾病、3事業、新型コロナ、在宅など

様式1 調査結果 — 機能別病床数の意向 — (大北医療圏)

- 2025年の意向を集計した結果、2022年7月1日時点と比較すると、急性期4床が削減され、総病床数も4床減少する見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向と比較し、機能別病床数・総病床数いずれも変更される予定はない。



様式1 調査結果 — 機能別病床数の意向 — (大北医療圏:医療機関別)

- 2025年までに、あづみ病院において、急性期4床を削減する見込み。
- 2025年から2030年までの間には、機能転換等を行う医療機関はない予定。

【凡例】 A:2022年7月1日時点の機能別病床数 B:2025年における機能別病床数の意向 C:2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟等				介護施設等への転換				計										
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
厚生連北アルプス医療センターあづみ病院	0	0	0	0	0	154	150	150	-4	0	50	50	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204	200	200	-4	0
市立大町総合病院	0	0	0	0	0	99	99	99	0	0	48	48	48	0	0	48	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195	195	195	0	0
病院計	0	0	0	0	0	253	249	249	-4	0	98	98	98	0	0	48	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	399	395	395	-4	0

有床診療所名	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟等				介護施設等への転換				計										
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
神城醫院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
有床診療所計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
総計	0	0	0	0	0	253	249	249	-4	0	98	98	98	0	0	67	67	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	418	414	414	-4	0

様式1 調査結果 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 — (大北医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・ 専門	② 軽症 急性期	③ 地ケア	④ 回リハ	⑤ 長期 療養	⑥ 特定 診療	⑦ かかり つけ	
厚生連北アルプス医療センターあづみ病院	病院	◎	○	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い疾患を担当する診療科(整形外科、精神科、循環器内科等)への診療体制維持・強化を図り、二次救急診療体制を維持する。 ・総合内科としての診療体制を充実し、内科領域のジェネラリストとしての役割と他の診療科とのパイプ役として診療水準の向上を目指す体制を構築する。 ・専門診療(肩関節治療、循環器病、認知症疾患、緩和ケア、その他専門外来など)の充実による当該地域のみならず他圏域からの受入も継続して対応する ・がん診療体制充実強化も含め消化器内科医等の充実、その他専門職(認定薬剤師・認定看護師・相談支援員等)の体制構築を図るとともに、核となる信州大学医学部附属病院との連携を充実する。 ・専門医制度の基幹施設認定(整形外科・精神科)として専攻医受入を継続する。
市立大町総合病院	病院		○	◎	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、地域における在宅医療の役割の重要性がさらに高まると考え、在宅部門の連携強化及び拡充を進め、大北地域の在宅医療を支える病院として貢献するとともに、急性期機能だけでなく、回復期機能や初期救急などの、かかりつけ医としての役割を担う地域の基幹病院、さらに地域包括ケアの中心を担う病院として医療体制を支えていきたい。
神城醫院	診療所							◎	<ul style="list-style-type: none"> ・介護療養病床を医療病床に転換を行い、地域医療を担う診療所として使命を果たす。

様式1 調査結果 — 各医療機関が抱えている課題 — (大北医療圏)

- 大北医療圏における各医療機関が抱えている課題は以下のとおり。
- 様々な課題がある中で、共通している課題としては、**継続的な医療従事者の確保**が挙げられる。

医療機関名	病診区分	自院の課題
厚生連北アルプス医療センターあづみ病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な医療従事者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ①医師:精神科、呼吸器外科、小児科、整形外科、麻酔科(2030年までに定年を迎える医師の診療科)、 ②薬剤師:病院への就職率が低く応募がない、③看護師:通勤圏内に居住する応募者が少なく定着率が悪い。 また、将来の生産年齢人口の減少による成り手不足での各専門職の安定した確保が課題(不安がある)。 ・診療報酬改定による収益影響 <ul style="list-style-type: none"> 医療費削減によるマイナス改定。施設基準厳格化により看護体制を変更せざるを得ない状況が将来考えられること。 これにより経営面への影響、看護配置を下げることによる医療安全・患者サービス面の低下、看護師確保への影響が考えられること。
市立大町総合病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な医療従事者の確保。(特に医師、看護師、薬剤師の確保が課題) ・新型コロナウイルスなどの新興感染症に対する業務負担が増大している。(当院は感染症指定医療機関であり、感染者の受け入れをしているが、感染拡大時には医療体制がひっ迫し、通常の診療を制限せざるを得ない状況にある。軽症者等の初期対応には、地域の医療機関の協力が必要不可欠である。) ・業務内容の多様化により、勤務医の負担が増大している。(2024年4月より医師の時間外労働時間の上限が法令で規制されることから、業務分担の見直し等を進めているが、24時間365日の救急受け入れを維持するためには、労基署の宿日直許可を始め、宿日直体制の再構築が必要である。)
神城醫院	診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は医師・看護師の確保が難しく、今後運営に不安を感じる。

様式1 調査結果 — 地域(圏域)の課題と将来あるべき姿について — (大北医療圏)

- 任意回答でお答えいただいた内容は以下のとおり。
- 地域の課題としては 生産年齢人口の減少、医療から介護へのスムーズな移行、医療従事者の確保、分娩などの産科体制の構築 などが挙げられている。
- あるべき姿としては、生産年齢人口の減少に歯止めをかけるため、地域の高齢者が身体的・精神的にも健康で働くことのできる地域であること、医療・介護の少ない資源を有機的に連携させ、住み慣れた地域で医療や介護が安心して受けられるシステムがあること が挙げられている。

医療機関名	病診区分	地域(圏域)の課題と将来あるべき姿
厚生連北アルプス医療センターあづみ病院	病院	<p>・2040年までに生産年齢人口が急激に減少する(対2015年:約4割減少)中で高齢者の就労状況は重要なポイントである。少子化社会において、高齢者が後期高齢者になっても身体的にも精神的にも健康であり続けられれば生産年齢人口の減少に歯止めをかけることができると思う。それを実現するために医療の面から地域の皆さんを支え続け、中山間地域の中小病院であっても都会の病院に負けない質の高い医療を今後も提供し続けていきたいと考えている。</p>
市立大町総合病院	病院	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他圏域より高齢化率が高いことから、医療から介護へのスムーズな移行 ・生産年齢人口の減少や地理的条件の不利による医師等、医療スタッフの確保 ・圏域唯一の周産期取扱医療機関として、分娩などの産科体制の構築 <p>【将来のあるべき姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の少ない資源を有機的に連携させ、住み慣れた地域で医療や介護が安心して受けられるシステムがあること。

今後の進め方(案)

— 令和5年度における各医療機関の対応方針の協議方法について —

【病院の場合】

- 自院の対応方針が作成でき次第、今後開催される調整会議に出席いただいた上で、自院の対応方針の内容について、説明いただくようお願いいたします。
(調整会議に参画いただいていない病院にも出席(対面orオンライン)をお願いすることといたします。)
- 対応方針の作成状況については、各回の調整会議を開催する前に、保健福祉事務所から照会・確認させていただきます。対応方針の作成が完了している場合には、改めて調整会議への出席・説明を依頼させていただきます。(出席・説明を依頼する調整会議については、各病院の対応方針の作成状況や各回の議題の多寡等を踏まえ、事務局において調整させていただきます。)

【有床診療所の場合】

- 将来意向調査で回答いただいた内容を対応方針として取り扱わせていただき、次回の令和5年度第1回の調整会議において、県から各有床診療所の対応方針を説明し、協議させていただきます。(調整会議への出席をお願いする予定はございません。)
- 調整会議での協議結果は後日共有させていただきますが、継続協議となった場合には、必要に応じて、継続協議の対象となった有床診療所に調整会議への出席を依頼させていただきます。

今後の進め方(案)

— 令和5年度における各医療機関の対応方針の協議方法について —

- 調整会議で説明いただく資料については、以下を想定しております。
- 共通様式については、3月中を目途に、将来意向調査の集計結果(圏域ごと)と合わせて、将来意向調査の対象である病院に送付させていただきます。

【調整会議で説明いただく資料】

① 公立病院の場合

- 「公立病院経営強化プラン」(案)の概要版(※)

※様式は任意とし、2025年における機能別病床数が明記されたもので説明をお願いします。

② 公的医療機関等の場合

- 2025年における対応方針(共通様式)

③ 民間病院の場合

- 2025年における対応方針(共通様式)

本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(修正案)

	令和4年度			令和5年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回	必要に応じて開催	第2回	必要に応じて開催	第1回	第2回	第3回
	1. 各医療機関の対応方針の策定や検証・見直し 2. 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証					令和5年度末までに完了	
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位調整会議			第1回				第1回
将来意向調査		実施					

■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

次期医療計画(案)へのご意見をいただくため開催

【令和4年度第2回】

- 将来意向調査の結果
- 各医療機関の対応方針について(病院)

【令和5年度第1回】

- 各医療機関の対応方針について(病院・有床診)
- 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証について

【令和5年度第2回】

- 各医療機関の対応方針について(病院)
- 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証について

【令和5年度第3回】

- 各医療機関の対応方針について(病院)
- 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証について